

エゾノキツネアザミ

Breaa setosa

キク科



エゾノキツネアザミ。花は上向きに付く

名前の由来

「エゾ」は北海道に分布するから。「キツネアザミ」はアザミに似るがそうでなく、キツネにだまされたようなという意味から名付けられた。(→興味深い話の項参照) 漢字名：蝦夷狐薊

形態的特徴

高さ50~180cm、大型で直立する。上方で枝分かかれが多く、全草にまばらに蜘蛛糸がある。茎葉には柄は無く、長楕円状披針形、葉縁に浅い鋸歯と短いトゲがある。花(頭花)

は紅紫色の筒状花とよばれる小さな花の集まりで、上向きに枝先に多数つく。

類似種：特にない。

生育環境・分布

道端や荒地、日当たりの良い草地や林縁などに群生する。

分布：国外分布は、朝鮮・中国などの東アジアの温帯から、シベリア・カフカズ・ヨーロッパロシアの中南部。

国内分布は、北海道から本州東北地方。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、道端や荒地、日当たりの良い草地や林縁などに群生する。

生活史

開花時期：7~9月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

他生物との関わり

ヒメアカタテハ幼虫の食草である。

花には虫が訪れる。



ヒメアカタテハ
(標本-吉原利之氏所蔵)

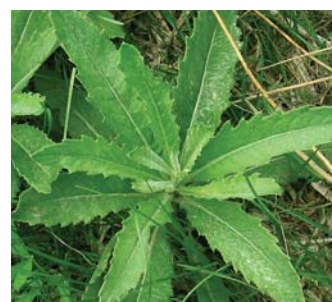
興味深い話

■繁殖力が旺盛で、株が途中で切り倒されてもまたすぐにのびて、花を咲かせる。

■本種にはアザミの仲間の特徴的なすどいトゲがほとんどないが、猟師に追われたキツネがとっさにアザミに化けたときにトゲを忘れたという言い伝えがある。



エゾノキツネアザミ



エゾノキツネアザミの若芽

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期				■								

参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

1982

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「北見の蝶」木村辰正 北見市教育委員会 1994

「日本の野生植物 草本II」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ